



# 赤磐

平成25年6月議会

第33号

# 市議会だより



6月議会のあらかし	2P
委員会のうごき	6P
一般質問	9P
4月臨時会のあらかし	15P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

発行 平成25年8月1日 編集／赤磐市議会広報編集特別委員会 所在地／〒709-0898 岡山県赤磐市下市344番地 TEL(086)955-2945 FAX(086)955-5348



# 6月議会のあらまし

## 議案審議

6月定例会を、6月10日から28日まで、19日間の会期で開催した。報告案件4件を承認、議案9件を可決、請願1件を採択、1件を不採択とし、議員発議の意見書1件を可決した。また、人事案件4件を審議した。

### 新型インフルエンザ等対策本部に関する条例

**問** 条例の中身には、マニュアル等があって、有事の時には対応できるのか。  
**答** 今回の条例は、国の法律制定があり、市町村で本部の設置条例を定めよという事で提案した。今後インフルエンザの蔓延が予想される場合には、

昨年3月に改正した新型インフルエンザ対策行動マニュアルに基づいて予防対策をとっていく。

### 補正予算

#### 一般会計

**問** 都市計画総務費のEV用充電器について、詳細説明と今後の計画は。

**答** 国の次世代自動車充電インフラ整備促進事業を活用し、あかいわスマートコミュニティ・ビジョンに基づいて、EVの急速充電器を設置するもので、来年の10月末までに市内1カ所に設置する予定である。

### 地域活動支援センターあかさかの指定管理者の指定

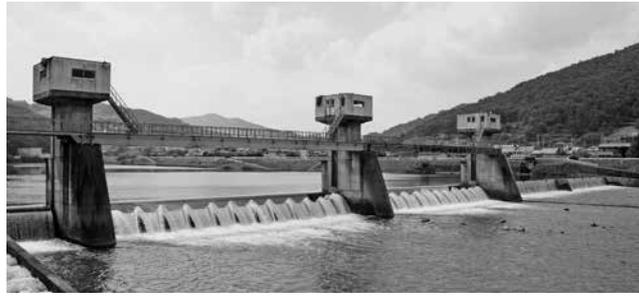
**問** 指定管理者に指定した、特定非営利活動法人わかたけの活動内容と指定管理の期間の決め方は。  
**答** 現在32人の登録があり、自動車部品の組み立て、封入作業等を行い自立と社会参加の促進に努めている。指定期間は原則3年から5年としている。

が、初めての指定なので27年の年度末までの2年8カ月とした。

**問** EVの急速充電設備について、使用料はいくらか。財源内訳はどう

なっているのか。  
**答** EVの充電器の使用料は基本的には有料ということになっているが、現在のところ国の補助・EVの普及ということを考えると、当分の間無料で対応したいと思っている。

**問** 桜が丘東1丁目の児童公園の整備測量設計委託料について、地元要望で新たに公園を造るのか。そして現在ある公園と合わせていくつになるのか。  
**答** 1丁目町内会長から要望があり、これを受け



河原屋頭首工

て整備するもので、財源は大和ハウスからの整備費用を充てて行う。東1丁目には6カ所児童公園を計画している。

人月当たり8000円、1万円程度の改善を見込んでいる。公立の保育園はこの事業の対象外である。

**問** 衛生費県補助金の地域自殺対策緊急強化事業補助金は市としてどのような事業に活用するのか。

**問** ごみ処理施設建設工事に係る隣接道路の路肩補強工事は、衛生費ではなく土木費であれば、一般財源でなく国庫事業でできたのではないのか。

**答** 今年度は自殺予防対策を知ってもらうために、啓発用パンフレットと相談窓口の一覧表や心・生活支援・法律などの相談を掲載したものを配布する。

**答** ごみ処理施設内にあった用水路を敷地外につけかえる工事をし、その際に用水路と隣接する道路の間のり面を処理したため、衛生費での対応とした。

**問** 児童福祉費の委託料は私立10園に対して人材確保対策に取り組むために増額することだが、どのような見直しになり、また、公立の保育園についてはどうなるのか。

**問** 国からの生活保護費が3年間で670億円減額されるとのことだが、基準が厳しくなっていくのか。

**答** 保育士の人材確保、離職防止を推進するため補助金を県から受け、処遇改善を行う私立の保育園へ運営委託料として支払う。対象は私立の保育園に勤務する職員で、非常勤も含み、試算で1

**答** 3年かけて段階的に減額となるが、わずかではないかと考える。今後生活保護の適正化に向けて訪問回数が増やし、生活指導等に努める。

**問** 世帯分離しながら同居している家族の生活保護はどうするのか。

に変更した。維持管理は当初予算で維持管理費として予定している。

**答** 世帯ではなく実態で見るので、実際に生活が一緒になっていれば、その人達を含めたもので生活保護になるかどうか判断する。

歩道橋3橋の修復は今年度中に完了する予定である。

**問** 河原屋頭首工について、農政局との協議内容について教えて欲しい。

**問** 新診療所関連の予算について、なぜ今「明許繰越」するのか。

**答** まずゲートの診断をし、改修の計画を立てていくということ、「診断」について協議している。

新診療所に老人保健施設を併設するという話は今までにあったのか。診療所化より病院を残すほうが良いと考えているのか。

その他、24年度から25年度について単価改正があるが、そのことについても協議している。

**答** 診療所化に向けて、今後丁寧な説明と理解を求めするためには時間が必要であるため繰り越した。老人保健施設の併設案が診療所化の計画に盛り込まれたことは聞いていない。

**問** 山陽団地一丁目歩道橋修繕事業費の減額に関して、この減額は全額分のか。

診療所化の計画を白紙に戻すことは非常に困難であると考えている。

団地内に3橋ある歩道橋の補修工事はどうするのか。

**問** 山方財産区の改植について、何を改植するのか。また、どの地域で行うのか。

**答** 一般財源で実施する予定であったが、より有利な経済対策で行うこと

**答** 場所は番屋であり、松からヒノキへの改植を3・5ha行うものである。これにあわせて作業道700m、除伐と枝打ち14haを実施する。

について、場所はどこか。

**答** 場所は大柏谷であり、除伐と枝払いを2ha行うものである。

**問** 造林した成果はいつ頃表れるのか。

**答** 造林の当初は契約期間を50年として契約をしていたが、材木の価格等を考慮して契約期間を順次約90年、100年に延長しているようである。したがって、成果が表れるのは2062年からになる見込みである。

**問** 赤磐産の木材製品に助成する気持ちはないか。

**答** 助成等の補助については今後の検討課題である。

**問** 赤磐産の木材製品に助成する気持ちはないか。

**答** 助成等の補助については今後の検討課題である。

## 財産区 特別会計

**問** 周匝財産区の枝打ち

# 人事案件

次のとおり適任とした。

## 人権擁護委員

栗田 篤子（山陽1丁目）  
清水 紀子（周匝）  
戸田 末信（下仁保）  
日笠 誠（奥吉原）

任期

平成25年10月1日～  
平成28年9月30日

## 反対討論

**議第54号 一般会計補正予算「繰越明許費」(診療所建設事業費)**

(4人の議員の要旨)

市民病院を診療所化するための建設事業費を、事業を始める前から6月議会で繰越明許することは、通常あり得ない。すでに3月議会で予算は議決されており、事業は進んでいる。

市長が決断を2カ月余り延ばしたことで、来年から消費税が8%になるので3%分の1200万円余消費税が追加されることになる。これは税金が使われる以上議会としては認められない。当初議会が議決した予算内で事業を早急に完了させるべきであり、反対する。

## 請願

**請願第2号 国に対して最低賃金引き上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見書提出を求める請願**

【採択】

【要旨】今や労働者の36%は非正規雇用で、4人に一人は年収200万円未満である。低すぎる賃金を改善することは、景気刺激策として有効である。中小企業支援を拡充しつつ最低賃金を引き上げれば、需要が増え、中小企業の仕事も、雇用も拡大する。国への意見書を提出することを請願する。

【賛成討論】県の最低賃金が691円だが、これでは健康で文化的な、最低限の生活はできない。実際に困っている人々を助けるために、地方議会から中央へ声を上げていくことは議員の責任である。

**請願第3号 選挙管理委員会に実績報告を求める請願**

【不採択】

【要旨】今回の市長選挙、市議会議員選挙において、選挙管理委員会に実績報告(自治法98条に基づく検査)を求めるとともに、問題点、今後の課題、総合評価および総括を市民に明らかにすることを求める。

【賛成討論】自治法98条に基づく検査では、選挙管理委員会に報告を請求して検査をする権限は、議会に与えられた権限である。

今回の選挙で生じた市民の不信感を、調査せず放置することは市民の信頼を得られる議会のあるべき姿とはいえない。実態を調査することで、将来のあるべき選挙態勢を作り上げていくことは、議員の責務であり使命である。

## 意見書提出

**デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書**

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣



平成25年6月第3回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	山下浩史	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第3号	平成24年度赤磐市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	-
議第54号	平成25年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	-
請願第2号	国に対して最低賃金引上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書	採択	●	●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●
請願第3号	選挙管理委員会に実績報告を求める請願	不採択	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
発議第7号	デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	可決	●	●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●

○ = 賛成 ● = 不賛成

※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

## 議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会是一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員10人）。休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

# 総務文教 常任委員会

6月19日に総務文教常任委員会を行った。  
議案3件、請願1件について審査した。

## 条例改正

### 赤磐市消防本部 及び消防署設置 条例の一部を改 正する条例

**問** 現場は予定通り完了できるのか。

**答** 建物は6月28日に引き渡しの予定。外構・舗装工事は6月30日を工期



新消防庁舎

として進めているが、舗装工事について若干厳しい工程となっている。業者には工期内完了を強く要望している。

**問** 移転後、119番をかけた場合は、新庁舎に直接かかるのか、県のほうに先にかかるのか。

**答** 新庁舎に直接つながる。市民が自由に見学できるようにするのか。パ

**問** 市民が自由に見学できるようにするのか。パ  
**答** 予定はあるのか。  
**答** 落成式の日に一般公開を予定しており、その日は通常入れないところまで見られる。それ以後は随時受け付ける。団体では事前申し込みで平日9時から16時の間で対応できる。パンフレット

は落成式での見学に合わせて部数を作成する予定である。

**問** 跡地のことはどう考えているのか。  
**答** 消防施設としての利用は考えていないが、市長部局で今後検討していく。

## 一般会計 補正予算

**問** 県委託事業、放課後学習サポート事業について、今回仁美小学校、笹岡小学校の2つの小学校を選んだ経緯を説明してほしい。また、来年度どういう対応をしているのか。

**答** 平成24年度末に県が示したこの事業を校園長会で各学校に説明して、希望が出たのがこの2校だった。ほかの学校については、PTAや地域の

人など地域の教育力を活用して学習サポートを行うということだった。今後については、県からの明確な回答はないが、続くのではないかと思っている。今年1年、各校の取り組みの状況を見て検討していく。

**問** 同事業は何年生が対象か。何をサポートするのか。  
**答** 笹岡小学校が1年生と3年生を対象に漢字学習を実施する。

**問** 希望の学校があれば、県の補助金がなくても単市でやっていくべきでは。  
**答** 行政側からどういう支援ができるかを原点に帰って考え、教育委員会と協議しながら、できることをしっかり支援したい。放課後学習支援については有効性を強く感じている。

**問** 色々な人が見識や経験をを用いて方程式等を教えることは賛成だが、教



放課後学習サポート事業（仁美小学校）

**問** 同事業の実施はいつか。  
**答** 職業体験が2学期なので、それにあわせて人を探している。

**問** 学力向上市町村プロジェクトについて、目標があれば教えてほしい。  
**答** 県が実施した学力テストの結果は、子どもたちの学力の一部であると考えているが、報道等で市民の皆さんに心配をかけている数字であることは間違いない。教育委員会としては1人1人に対応した学力の向上を視野に入れてこのプロジェクト事業を進めている。

育現場を通じて国益や社会の益にならないことを教えるということ在全国的には聞くので危惧している。思想信条がしっかりとされた人なのか。判断基準として設けるつもりがあるのか。  
**答** 偏った思想信条や自分の価値観を教えるようなことはしてはいけないと説明会や面接の時に指導する。  
**問** あこがれの人派遣事業について、赤磐市にも素晴らしい人がいると思うが人選はどうなっているか。  
**答** 高陽中学校がAMD

A、桜が丘中学校がフアジャーノ岡山の木村社長、赤坂中学校、磐梨中学校が調整中である。吉井中学校が障害を持ちながら野球で全国大会に出場した中学校の先生と湯郷ベルの選手を候補として挙げています。

# 厚生 常任委員会

6月20日に厚生常任委員会を行った。  
議案5件について審査した。

## 条例改正・ 制定

### 総合福祉センター条例

**問** 改正で内容が変更になるのか。また、料金は具体的にどう変わるのか。

**答** 内容的には変わらない。障害者総合支援法に基づくものは、料金が下がる場合がある。

### 障害者自立支援 審査委員の定数 等を定める条例

**問** 支援区分審査会になるが、実態として違いがあるのか。

**答** 名称の変更であり、まったく変わらない。

### 新型インフルエンザ 等対策本部条例

**問** 今後のスケジュール



建替え時期にある市民病院

**問** 地域活動支援センターあかさかの指定管理者の指定

**答** 9月ごろに県が計画を作る。それを受けて市は今回、新たにマニュアルを作成する事になる。

## 一般会計 補正予算

### 繰越明許費補正

**問** 市が管理者を指定するなどのようなメリット

**答** 今後は障害者総合支援法に基づく障害給付を受け、法人経営の安定と通所者の安定した通所が図られる。

**問** 新しい診療所の建設について、事業が始まる前から繰越をする例は通常はない。理由はないか。

**答** 工期を8カ月と見込んでいる。今の予定では、来期にずれこむので補正をあげた。

**問** 本来ならば、

この議会で入札の結果を得て、工事が進むはずであった。来期となれば、消費税3%が増える分どうするのか。

**答** 新市長と地元との調整のための最小限の時間がある。繰越の結果、消費税がかかるのはやむをえない。地域の人たちと対話をしているが、更に専門家の意見を確認し、地域の意見を聞いたうえで工事にかかる。

**問** 市長は赤磐市民全員の市長である。全域の医療体制を考えて、結論を出すべき時である。6月中に結論を出さなければ損害賠償が発生するが、どうするのか。

**答** 時間がないと理解しているが、更に地域の人たちと対話をしたい。

## 社会福祉費

**問** 小規模多機能型介護事業（アカイワベリー）について詳しく中身の説明を聞きたい。

**答** 小規模多機能型介護事業は、デイサービスとホームヘルプとシヨート

ステイという3種類の介護サービスを一カ所で使える施設である。24時間介護してもらえるのでありがたい施設であるが、運営する人は大変である。

## 児童福祉費

**問** 保育士の処遇改善のための委託料として市内の民間保育園10園分を補正計上したということだが、対象の保育士は何人か。

**答** 170人程度で、一人当たり月額8000円から1万円程度である。

## 生活保護費

**問** 公立と私立の年収の差はいくらくらいか。

**答** 勤続年数にもよるが、主任級で100万円程度である。

## 保健衛生費

**問** 3年間で10%減ると言われているが、就学援助に対して悪い影響が無いようにすべきだが。

**答** 実態把握の上、そういう目標で取り組みたい。

**問** 委託料の内訳はどうか。

**答** 多職種連携の会議、在宅医療の講演会、人材育成費用である。



新しい地域活動支援センターあかさか（わかたけ作業所）

# 産業建設 常任委員会

6月22日産業建設常任委員会を行った。  
議案3件、請願1件について審査した。

## 補正予算

### 一般会計

**問** 農地費の事業計画書作成業務委託料について説明を。

**答** 吉井地域の河原屋頭首工に係るもので、平成



災害により崩れた市道菖蒲線（多賀）

24年5月に右岸側転倒堰のシリンドラーが故障したため、24年度に予定していなかった診断業務を行った。このため、当初に計画していた概要書作成の一部が作成できていなかったため、今回できていなかった概要書を作成するための予算を計上した。

**問** 今年度全ての概要書の作成を行い、27年度からの修繕工事に向けた工事を考えている。

**答** 土木費のEV充電器について、当初は使用料を無料とする

のことが、将来的にはどう考えているのか。また、県下の充電器の状況は。加えて、現在の赤磐市におけるEVの登録状況は。

**答** 基本的に充電器使用料は有料が原則だと考えているが、国・県でEVの普及を進めていることから、市としても現段階では使用料を無料とし、EVの普及状況および近隣のEV急速充電器の設置状況等を見て、将来的に有料を視野に入れて今後検討する。

**問** 県下の急速充電器の状況については、現在47カ所に設置されており、その内41カ所が現在無料で運用されている。EVの登録台数については県下全体で1037台であるが、赤磐市内での登録台数については現



山口工業団地

時間とすることを考えている。

**問** 市道菖蒲線の災害復旧工事について、一般的には高さの低い道路の災害では間知ブロックで復旧する場合が多いと思うが、そう

状態では把握できていない。

した工法ではできないか。今回の工法を選んだ理由は。

**問** 設置場所における急速充電器の管理は誰がやるのか。また、使用時間。

**答** 設置施設における管理については、施設で受付をし、係員が充電器の取り扱いを説明する。また、機器の保守点検については都市計画課で担当することを考えている。

使用時間については基本的に施設が開いている

ク施工が最も費用的に有利だと考えた。

### 水道事業会計

**問** 今回山口工業団地の水道事業を行う理由を再度説明してほしい。

**答** 現在加圧ポンプ1台で工業団地へ送水しているが、工業団地が24時間操業をしているため加圧ポンプも常に使用しており、いつ故障するかかわからないという状況であるので、早期に配水池を設けて自然流下で工業団地へ安定的に給水を行いたいことから、今回補正予算を計上した。

**問** 今後企業が増えた場合にも対応できるのか。

**答** 現在工業団地には企業が10社入っており、24年度の実績では水道使用量が1日平均約58m<sup>3</sup>となっている。今回120m<sup>3</sup>の増設を行う計画にしており、将来新しく企業が入ってきてもしっかり対応できる。

# 一般質問

## 市の考えを問う



11人の議員が登壇し市の考えをたどりました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

**問**

法令順守についてどのように考えているか

**答**

人として、行政として当然のことである

**問** 法令順守についてどのように考えているか。また、赤磐市をどのように導きたいか。

**答** 法令順守は人として、行政として当然のこと。

主役は市民である。安心して健やかに住めるまちづくりを目指す。

**問** 選挙期間中、県有地に選挙用ののぼり旗を立てていたとか、選挙事務所に弁護士の見書をつけて町内会長を集めていたなど様々なことがあったが、市長のコンプライアンスはどうなっているのか。

**答** コンプライアンスが基本である。個々に指摘されたことについては、今後警察・司法が判断するものと考えるので、コメントは差し控える。

新診療所について、今後の方針は

**問** 6月補正予算で4億200万円が繰越明許となっている。なぜ今から繰り越すのか。市民病院を存続するのか。

予算は前議会で議決しており、医師会も工事に着手しているというが、医師会病院に迷惑はかからないのか。

**答** これまでの経過を踏まえたくえで、専門家の意見も聞き、市民にとつ



下山哲司議員

て最善の策を考えていく。医師会には迷惑がからないよう考える。地域の人には白紙に戻すことは困難だと説明している。

**問** 市長選挙のとき墓地造成の話があったが、取り付け道路もない状況でどうするのか。

**答** 非常に長い年数の経過をたどっているため、しっかりと検証していく必要がある。現時点では休止が継続するものと考えている。



### 表紙のひとこと さんよう夏祭り・盆踊り

蝉の大合唱が本格的な夏の訪れを感じさせた7月27日、山陽2丁目の弥生公園で第42回さんよう夏祭り・盆踊りが開催されました。

祭りの会場には「ぼくの、わたしの好きなもの」をテーマにした子どもとうろうが飾られ、祭りの会場を幻想的にライトアップしていました。

祭りの最後には恒例の盆踊りが行われ、参加者の皆さんがやぐらを囲み、炭坑節やご当地民謡の弥生音頭などを中心に全6曲を総踊りしていました。

## 問 人口増加につながる取り組みを

## 答 私自らもトップセールスを行っていく



松田 勲議員

**問** 住みたくなる赤磐市にしていくため、例えば、①企業誘致の促進計画②放課後子ども教室を始め、学力向上につながる施策③乳幼児医療費の助成を高校3年生まで拡大④公立高校の学区制や5%枠の見直し⑤高齢化対策に、在宅介護の充実⑥魅力あるまちづくり等、どのように取り組んでいくのか。

**答** ①私自らもトップセールスを行っていく②学力向上アクションプランを策定し、学校や地域の実態に応じた取り組みを強化していく③有効性、財源の確保等の検討をする④県教育委員会に伝えていく⑤平成25年度から在宅医療連携拠点事業を実施し、多職種協働による在宅医療支援体制の構築を図る⑥土地利用、基盤整備、公共交通、福祉、教育等横の連携を強化し、市の持ち味を生かした独自性のある施策を検討していく。



早期完成が期待される山陽総合流通センター(長尾・立川)

**問** パソコン等の情報セキュリティ対策について

**答** 国会でマイナンバー法が可決された。データが一元化され、とても便利になるが、セキュリティ対策はますます万全なものにしていかなくてはならない。職員の更なる意識改革とI・S・M等の導入、パソコン等のハード面の充実等を計画的に図っていくべきではないか。

**答** 情報システムについては、住民情報系と一般事務処理を行う内部情報系の2つのネットワークがあるが、排他環境になっている。総務省からのガイドラインに沿って情報セキュリティポリシーを制定し、組織的な運用を行っている。OSのバージョンアップも含め、職員のシステム管理の資質の向上に職員研修等で努めていく。

## 問 財政健全化への取り組みは

## どうするのか

## 答 次世代の発展を目標に掲げ、改革に取り組む



佐々木雄司議員

**問** 行政責任としてやらねばならない事は沢山ある。しかし財源確保ができれば介護・子育て支援・地域活性化への取り組み等、重要な市民サービスも実施できなくなる。市職員数も他市に比べて多く、市が行う業務は肥大化し、経費が余剰にかかっている。まずは市役所改革を行い、財

**答** 政支出を抑制し、市民生活向上を実現するための財源確保に努める事が大切なのではないか。

**答** 次世代に引き継ぐ発展を支えるための改革を目標に掲げ、行財政改革への取り組みは今後も積極的に挙げていく。これから更に行う改革には職員意識改革が必要。行財政改革について市民の皆さんに深く理解を求めたい。

**問** 職員数が多い件については、行革の人事政策で議論していく。

**問** 昨年、ワースト1との悪い評価を得た青少年問題について、改善する取り組みがなされていないようだが、これは担当部局である教育委員会の失政ではないか。

**答** 今後は家庭・学校・警察・専門機関等との連携を一層深め、多くの人に見守られている体制を整えていく。そして課題のある子どもについても、善悪に対する毅然とした指導と子どもに寄り添う指導を両輪として積極的に取り組んでいく。

**答** 教育委員会の取り組みについて、問題に対して外形的になっただけでは注意する姿勢で臨む。問題解決に向かっているかの視点で見たい。

**問** 防災対策について、職域エキスパートが不在である。この体制で市民を守るのか。

**答** 現在、警察官O・B・消防は所在している。しかし自衛隊関係は不在である。他市の状況を見ながら安心・安全の向上を検討していきたい。



広報あかいわ4月号の予算ページ

### 問

## 山陽ショッピングセンターの跡地利用は

### 答

## これから考えて検討に着手したい



保田 守議員

**問** 旧山陽団地のショッピングセンターの管理が十分ではなく、危険な状態である。この土地を買い取り、山陽再生の施設を作るべきではないか。

**答** 地域の人々が望んでいることを認識し、一緒に考えていきたい。

**問** 耕作放棄地の将来は

**答** 高齢化に伴い耕作放棄地が増えている。早急な対策が必要ではないか。

**問** 旧山陽団地のショッピングセンターの管理が十分ではなく、危険な状態である。この土地を買い取り、山陽再生の施設を作るべきではないか。

**答** これまでの経過を踏まえ、専門家の意見を聞きながら地域の人々と対話し、判断する。

**問** 赤磐警察署を赤磐市へ

**答** 市民の安全を確保するため、現在岡山市にある赤磐警察署を赤磐市内に移設すべきでは。

**問** 赤磐市内のしかるべき場所にあるの



耕作放棄地（山陽地区）

**問** 3月の市長選は、市民病院の診療所化の進め方が争点になった。結果をどう受け止めているのか。市長は地域住民の思いも聞かれ、自治体病院としての役割を十分理解しているとのことだが、国・県にはつきりと物を言ってもらいたいがどうか。

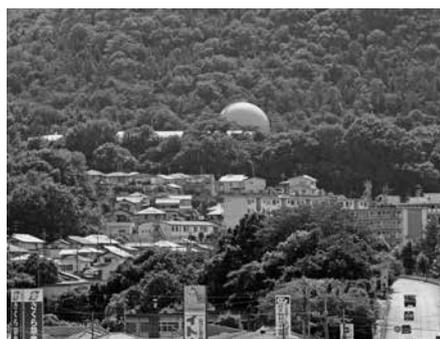
**答** 地域住民の思いを聞いている。現在の状況を

**問** 3月の市長選は、市民病院の診療所化の進め方が争点になった。結果をどう受け止めているのか。市長は地域住民の思いも聞かれ、自治体病院としての役割を十分理解しているとのことだが、国・県にはつきりと物を言ってもらいたいがどうか。

**答** 各種課題があり、今後の眺望改善の可能性を検討していく。

**問** 高倉山頂上の西側付近の眺望を確保するため木の伐採と、桜の老木の管理を。

**答** 各種課題があり、今後の眺望改善の可能性を検討していく。



高台にある山陽団地

### 問

## 市民病院問題をどう考えているのか

### 答

## 精一杯の知恵を絞って検討していきたい



福木京子議員

**問** 山陽団地は入居から40年を超え、高齢化が進んでいる。中心地のお店が無くなってから12〜13年になる。市のまちづくりとしてすぐ取り組まなければ、市の発展もない。

**答** 山陽団地の活性化をどう考えているのか。検討委員会を作り、動き出すべきと思うがどうか。

**問** 山陽団地の活性化

**答** 山陽団地は入居から40年を超え、高齢化が進んでいる。中心地のお店が無くなってから12〜13年になる。市のまちづくりとしてすぐ取り組まなければ、市の発展もない。

**問** 選挙関係の変更の見直しを

**答** 選挙公報の新聞折込では全世帯に届かない。不平等である。投票所も統廃合され不便になり、投票率の低下につながったのではないかと考えている。

**問** 選挙公報の新聞折込では全世帯に届かない。不平等である。投票所も統廃合され不便になり、投票率の低下につながったのではないかと考えている。

**答** 他市でも行われている。補完的措置もあり、期間的な事を考えると有効である。投票率の低下は全体的な傾向であり、継続的な啓発が必要であると考えている。

## 問 要支援がはずれようとする中で対策は

## 答 岡山県市長会等を通じ、国に存続を要望したい



澤 健議員

**問** 国は、介護保険から要支援をはずそうとしている。その中で地域包括ケアシステム充実のため、地域包括支援センターと社協の連携強化を行い、あるべき地域ケア会議のモデルを今年度実施して欲しい。ケアマネのケアプランにシルバー人材センターなどのインフォーマルサービスの記述を指導して欲しい。

**答** 要支援がはずれるこ

**問** 国は、介護保険から要支援をはずそうとしている。その中で地域包括ケアシステム充実のため、地域包括支援センターと社協の連携強化を行い、あるべき地域ケア会議のモデルを今年度実施して欲しい。ケアマネのケアプランにシルバー人材センターなどのインフォーマルサービスの記述を指導して欲しい。

とは大変な問題。岡山県市長会等を通じ国に存続を要望したい。共助（市民の協力）がなければ、この改正はのり切れない。社協と地域包括の連携強化を図り、地域ケア会議の充実を図りたい。提案のあった「ふれあいの居場所」も参考にインフォーマルサービスを考えたい。ケアマネの研修でインフォーマルサービスの記述も指導したい。



ふれあいの居場所「サロン マイカップ」

### 公民館の有効利用について

**問** ①中央・吉井・熊山・高月・西山公民館では、今年から公民館だよりの発行がはじまる。初めての発行であり、発行頻度・紙面充実について教育委員会が支援して欲しい。

②公民館職員と利用者が触れ合えるレイアウトと

システムを各公民館で検討して欲しい。③各公民館のビジョン作りをして欲しい。④桜が丘地区で公民館機能がないのはバランスが悪い。

**答** ①公民館だよりは効果的であり、支援していく。②各公民館の受付等の対応を工夫し、ふれあいの増す配置も検討する。③各公民館ごとの重点目標・計画を盛り込んだ運営方針にするよう指導する。④桜が丘地区も地域の実情に応じた公民館講座ができるよう工夫する。

**問** 市長は選挙中から赤坂の公共下水道を早期に着手する、と言われていたが、1年前の担当課の資料によると、山陽地域で終了予定が平成37年。それから赤坂を着手して10～14年工期にかかるほぼ平成50年頃に終了となる。これが市長の言う「早期に着手」することなのか。

**答** 新規の制度を取り入れることで、事業量を増

## 問 赤坂の公共下水道の早期着工とは

## 答 新規の財源で整備する



原田素代議員

やすことが可能となり、その財源で赤坂への整備に使う。

**問** 選挙管理委員会には公正・公平な選挙事務を行う使命はないのか。

**答** 選挙違反を取り締まることはできないが、使命はある。

**問** 使命があるのであれば、公正・公平に行われたかどうかの検証が必要ではないか。

**答** 市民に選挙の啓発とお知らせすべきことはお知らせする。

**問** 選挙の際に市民から要請された公開討論会を拒否したのはなぜか。

**答** 忙しく、都合がつかなかった。

**問** 井上候補は快諾していたのに、市長は現場主義・対話重視を訴えながら、市民からの要望に応えないのは矛盾しないか。次に機会があれば受けるのか。



新ごみ処理施設

**答** 公開討論会の趣旨が私の思いに合致すれば参加する。

**問** ごみのリサイクル方法の変更で、従来堆肥にして無料回収していた剪定枝を有料にして、堆肥化せず焼却するということだが、これではリサイクルの精神に逆行している。焼却することで年間約272トンごみが増える。市民の分別リサイクルの苦勞が報われない。また子ども会、PTA、障がい者団体等の資源回収活動への報奨金のカットは市民感情として認められないがどうか。

**答** 市民目線かどうか検証し必要に応じ指示する。

### 問 山陽団地の再生・活性化は

### 答 協議会の設置を検討する



治徳義明議員

である。交通体系の見直しや宅配サービス、移動販売等の総合的な対策、支援の充実が必要であると同時に、スーパーマーケット・コンビニ等の誘致を積極的に行っていくことも重要と考えるが。

答 商業施設に限らず、必要な機能、ニーズを十分検討して、持続可能な体制を整える。

問 ①県営住宅の入居率が年々低下している。再開発をどのように計画しているのか。②5階建て県住の耐震化対策は。

答 ①本市からも、いろいろ提案をしている。県と連携を密にして協議していく。②耐震診断の結果、耐震性はある。

### 選挙制度関連について

問 混雑緩和、利便性の



山陽団地の全景

向上のため、投票所入場券の裏面等に期日前投票の宣誓書を印刷して、事前に自宅で宣誓書に記入できるようにすべきでは。

答 7月の参議院選挙の次の選挙から対応する。

問 システム改修等、時間がかかるのであれば、暫定的に、市のホームページで宣誓書をダウンロードできるように早急に対応すべきでは。

答 可能であれば行う。

問 高齢化が進む中、投票所のバリアフリー化は、必要不可欠と考えるが。

答 できていない投票所は、参議院選挙までに対応する。

### 問 山陽団地の再生に向けたかじを切るべき時だが

### 答 早期に検討の場を設け、行政として応えていく



丸山 明議員

状を写真で指摘)

答 歩道橋は遅れて申し訳なかった。7月から修理に取り掛かりたい。

問 5700人の町の生活の不便がピークに達しており、買い物場がないことをどうするか。

答 地域の実態を把握し、住民の意見を聞く事を早期に進めていく。

問 次に深刻な問題は、空き家と空き地の増加をどうするかであり、県営住宅部分の見直しとリニューアルが必要ではないか。

答 短期間に入居し、歳月を経て高齢化が進み、空き家となつて

いる現状である。2階建て県営住宅の有効活用については、県と協

識している。問 まずは、3本の歩道橋の修繕ではないか。(現



山陽団地の擁壁のクラック

議する。問 子育て環境と高齢化などの現状認識はどうか。答 西小学校は、個別の状況に応じた支援に努めている。

高齢化については、子どもが市外、県外に居住するケースも多く、認知症、引きこもり、孤独死等の危険の増加が予測される。

問 問題が多岐にわたるために、この地域に住む住民と、行政と企業という三者のパートナーシップが再生のために必要と考えるがどうか。

答 住民と岡山県を含めた行政と、専門家の指導を得ながらプランを作る中で、どうしても必要となれば用途の変更なども視野に入れながら、進めていきたい。

# 問 どのような施策をもって期待に対処するのか

## 答 産業振興と教育に特に力を入れる



金谷文則議員

「自然環境保護と有害虫の対策」について  
自然に恵まれたすばらしい赤磐市の、自然環境保護策の考え方はどうか。  
また、桜が丘の団地で蚊やムカデの大量発生を聞く。そのために他の地域へ移住した人もいる。対策は、安心な街づくりにかかせない問題だ。どのような対応をするのか。

「切実な問題、鳥獣被害対策」について  
鳥獣被害はそのままにしておけばマイナスにしか働かない。収穫にマイナス、対策費発生や、耕作意欲の減退でマイナス。マイナスを少なくすることで相対的に市にプラスになる。被害実態に即した対策をすべきだ。

問 多くの市民は、今回の選挙戦を通じ疑問や不安を感じ、赤磐市の行く末について大変な危惧を抱いた。今回の一般質問の中でも、そのことを大いに感じた。人と人、互いが信頼し、協調を持っていかなければと、市長に期待をしているが、どのような施策で、対処していくつもりか。

答 互いに独善的にならないよう行政運営に努めることが重要である。主役である市民と真摯に向き合い対話をし、協働を原則に笑顔のまちにしていきたい。特に、産業振興と教育に力を入れる。市議会議員の皆さんにも、市政推進に対し両輪となって支援してほしい。



5月22日に西窪田住宅内で撮られたアライグマ

問 危険管理の体制はどうなっているのか。  
答 早期に全体の状況把握に努める指導と職員への連絡方法の改善を行う。

問 市民病院存続と市民病院を核とした医療体制で①検討委員会等を実施すべきだが②専門家の意見を聞き白紙に戻すことはできないのなら市民の意向を踏まえ最善の方法をとってもらいたい。  
答 ①地域医療ミーティング推進協議会等の意見を参考に医療過疎地域の医療充実を行う②専門家や市民との話し合いを行い判断する。

# 問 市民病院診療所化には専門家や市民の意見を

## 答 専門家や市民と話し合いを行い判断する



北川勝義議員

問 ごみの処理施設の進捗状況はどうか。  
答 平成26年3月竣工に向け順調に各工事が進んでいる。

問 備作高校跡地利用で協議会はどうなっているのか。  
答 20年2月に設立総会を開いて以来開催されていない状況。一定の方向性が出た段階で再開する。

問 産業集積地の進捗状況はどうか。  
答 U S SおよびU S 物流は9月末までに造成工事が完了予定。ホリカワ運送は土の搬入がほぼ完了。

問 仁堀地区の「夢百笑」の直売所に助成を考えて  
答 県・国の制度が活用できないか研究している。継続できるため助成等を行うよう検討する。



6月30日の市民病院に関する市民説明会(くまやまふれあいセンター)

# 4月臨時会のあらまし

## 議案審議

4月臨時会を4月24日、25日に開催した。  
議長・副議長の選出、各常任委員会などの構成をはじめ、承認案件6件を承認、議案1件を可決した。  
また、人事案件2件を審議した。

### 専決処分

### 一般会計 補正予算

**問** 農地費が1070万円増えた理由は。

**答** 草生ほ場整備、ため池の一点検・安定解析、農道橋の一点検に係る費用である。ため池の一点検・安定解析および農道橋の一点検については、国の大型補正に伴うものの委託料である。

**問** 土木費の維持補修工事費5億800万円の内容説明を。

**答** 道路ストック総点検、道路構造物の修繕、舗装修繕の請負費用である。

道路ストック総点検については、危険箇所路線の点検を行うものである。道路構造物の修繕については、歩道橋3カ所および河川橋2カ所、計5カ所を修繕するものである。舗装の修繕については、市内一円の29路線の舗装を修繕するものである。

**問** 教育費の工事請負費の説明を。また、修繕費3200万円についても、この修繕をするのか。

**答** 工事請負費は、ふれあい公園フィットネスコートの人芝張り替えを予定している。修繕費は同じくふれあい公園のプールの温水ボイラー・自動塩素供給システム装置の修繕、更衣室シャ

ワー用のボイラーの修理、多目的広場・ちびっ子広場等の園路の改修を行う。

**問** 桜が丘中央緑道公園の今後のスケジュールは。

**答** 5月中に委託業者を決定し、作成した図面を持って地元と協議した上で実施設計に進みたい。25年度中の完了を目指していく。

**問** 地区集会所新築等工事補助金が190万円増額になっている理由は。

**答** 津崎地区内のコミュニティハウス建て替えに伴い、既存施設の解体に要する予算措置ができていなかったため、今回予算を計上したものである。

**問** 消防費の繰り越しが約560万円増えた理由は。

**答** 津崎地区に防火水槽2基の新設を予定していたが、24年度に完成予定であった1基について、天候不順等により年度末に完成が見込めなくなつたため、今回繰り越しをするものである。

### 山陽西小校舎耐震補強工事請負契約

**問** 議決後の予定は。

**答** 夏休みおよび土・日を利用して授業の負担にならないよう工事する。10月31日までに完了予定である。



次のとおり同意した。

### 監査委員

行本 恭庸 (可真下)

### 教育委員会委員

内田 恵子 (沢原)

任期

平成25年5月20日  
平成26年5月19日

### 平成25年4月第2回赤磐市議会臨時会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	山下浩史	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子	
同意第2号	赤磐市監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	●	○	○	●	○	○	○	○	-

○=賛成 ●=不賛成  
※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。  
※行本恭庸議員は地方自治法第117条の規定により除斥となります。  
※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

## 石相小学校児童が

### 議会へ社会科見学に



7月2日、石相小学校の3年生児童20人が社会科見学で赤磐市役所を訪れ、市議会の議場を見学しました。

児童たちは普段立ち入りできない議場に入り、議席から議場内を興味深そうに見回していました。

引率の先生から「みんなが座っている机に書いている人の名前は知っているかな」と言われた児童たちからは、「知っている!」「この前手を振ってくれた」と、普段はポスター等で見る議員さんが、実際に議場で座って活動する様子を想像して目を輝かせていました。

子ども達の笑顔と純粋なまなざしに議会も元気をもらうとともに、よりいっそうわかりやすく開かれた議会運営を目指す事を改めて認識しました。

# インターネットで本会議の配信と会議録がご覧になれます



### 本会議配信を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

### 会議録を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

- ※ インターネットでの本議会録画配信は、平成23年6月第3回定例会以降のものとなります。
- ※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
- ※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

## 編集後記

今年3月に市長選挙と市議会議員選挙があり、新たに18人の議員が選出され、6月議会は初めての論戦の場となりました。

広報編集委員会も新人議員を交えて7人で新たにスタートを切ることとなりました。

議会基本条例に則った開かれた議会をめざして、わかりやすさ、読みやすさを編集の基本に据え、今後2年間7人の委員で奮闘して参りますので、温かいご支援をお願いするとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければと編集委員一同願っています。

### 議会広報編集特別委員

- 委員長 丸山 明
- 副委員長 山下 浩史
- 委員 岡崎 達義
- 委員 原田 素代
- 委員 保田 守
- 委員 澤 健
- 委員 光成 良充

## 9月定例会のお知らせ

次回9月定例会は、9月3日から9月27日まで25日間の会期で開催予定です。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。